

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度第3回） の開催結果について

記者発表資料

平成18年1月12日に開催された、関東地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度第3回）の議事概要及び配布資料について、別紙のとおり公表いたします。

平成18年度1月13日
国土交通省関東地方整備局
企 画 部

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）
048-600-1329（夜間直通）
地方事業評価管理官 福留 勉 （内線2118）
企画部 事業調整官 真田 道夫 （内線3116）

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度第3回）議事内容

1. 日 時 平成18年1月12日（木）16:00～19:00

2. 場 所 グランドアーク半蔵門 4階 「富士（東）の間」

3. 出席者

[委員長]

森地 茂 （政策研究大学院大学教授）

[委員]

岩崎 政明 （横浜国立大学大学院国際社会科学研究科法曹実務専攻教授）

岩崎 美紀子 （筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）

櫻井 敬子 （学習院大学法学部教授）

進士 五十八 （東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）

中条 潮 （慶應義塾大学商学部教授）

西谷 隆亘 （法政大学工学部都市環境デザイン工学科教授）

萩原 清子 （首都大学東京都市環境学部教授）

山岸 秀雄 （特定非営利活動法人 NPOサポートセンター 理事長）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局等]

局長 門松、副局長 竹村、副局長 中村、総務部長 真鍋

企画部長 前川、河川部長 松本、道路部長 徳山、

営繕部長 玉井、用地部長 春田、

東日本高速道路株式会社関東支社建設事業部長 遠藤 他

4 . 配付資料

道路事業位置図	-----	【資料1 - 1】
国道50号 前橋笠懸道路	-----	【資料1 - 2】
国道468号 首都圏中央連絡自動車道（川島～五霞）	-----	【資料1 - 3】
国道468号 首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）	-----	【資料1 - 4】
国道246号 秦野IC関連	-----	【資料1 - 5】
河川、ダム事業位置図	-----	【資料2 - 1】
多摩川水系多摩川直轄河川改修事業	-----	【資料2 - 2】
荒川流水総合改善事業	-----	【資料2 - 3】

5 . 議 事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 道路・河川・ダムの再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の道路事業4事業、河川事業1事業、ダム事業1事業の計6事業の概要説明。

2) 審議（委員からの主な意見等）

事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、了承する。

再評価対象事業

国道50号 前橋笠懸道路	-----	継続
国道468号 首都圏中央連絡自動車道（川島～五霞）	-----	継続
国道468号 首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）	-----	継続

国道246号 秦野IC関連 -----継続
多摩川水系多摩川直轄河川改修事業 -----継続
荒川流水総合改善事業 -----別事業により実施

(道路事業)

- ・道路事業において取り組んでいる環境対策は環境形成に大きく貢献しており、積極的に打ち出すとともに、定量的な評価を行うことを考慮すべきである。
- ・秦野IC関連のような単独で事業が成立していないものは個別評価になじまず、評価対象事業の考え方を再考すべきである。
- ・再評価においては事業遅延による便益減少に関する考え方を整理すべきである。
- ・早い段階からの住民参加が重要であり、NPOも含めた取り組みを検討すべきである。

(河川・ダム事業)

- ・荒川流水総合改善事業の事業内容については、荒川上流ダム再開発事業、二瀬ダム堰堤改良事業で引き続き実施を確認